



一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会 ニュース

2015年9月

No.175

Contents

巻頭言	1	第2回神奈川県臨床作業療法大会開催決定！	10
27年度理事紹介—新体制後の各理事の紹介—	2	求人案内	11
理事会報告	6	財務部からのお願い	12
各部からの報告	7	事務局からのお知らせ	12
新設部署紹介	8	編集後記	12
研修会案内	8		



巻頭言

第2回神奈川県臨床作業療法大会 大会長挨拶



フローバーホスピタル
遠藤 陵晃

10月間近となりましたがまだまだ残暑の続く折から、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。第2回臨床作業療法士大会の大会長に任命されました遠藤です。

本年は4月に第15回神奈川県作業療法学会が開催され、600名以上の参加があったと聞いています。水島学会長はじめ運営スタッフの皆様お疲れ様でした。来年度は、第2回臨床作業療法大会の開催年となっています。現在2016年7月湘南地域での開催を目指し、企画・運営会議を始めています。

臨床作業療法大会としては、第1回目を2012年に行い、それ以降隔年行う形で開始されましたが、2014年は神奈川県で世界作業療法学会が実施されたため、2016年が第2回目となっています。まだ歴史の浅い大会ですが、近年県士会員数も増えてきており、隔年の学会だけでは多くの会員に十分な発表の機会を提供できないということから端を発しました。神奈川県の作業療法士の質の担保のためにも臨床発表する機会は大切でありますので、ぜひ学びの場として臨床作業療法大会を利用いただければと思います。

大会のコンセプトとしては、どの領域・分野でも共通の場で学び、コンパクトな大会でありながら作業療法士としての質を上げていくことを考えています。そこで身障・高齢期・精神・発達領域など領域に隔てなく参加できることを考えて企画をしてくれています。また、現在神奈川県作業療法士会は公益法人化を目指していることもありますので、大会の中で作業療法を県民・市民の多く

に知っていただく機会も作っていただければと考えています。さらに今年度は介護保険が大きく改定されました。特に通所リハビリでは生活行為向上リハビリテーション加算が新設され、参加・活動へ重きを置くように大きく舵を切られた形になっています。今回の加算や方向性は、生活や活動・参加に関わることを主な現場での仕事としている作業療法士に活躍を期待されたものと理解することができ、結果を出して活躍をしていかなければならない状況になっていると考えます。今回の改定を踏まえ医療と介護の連携強化を考えれば、次期医療保険の診療報酬改定時にも大きく影響が出てくるのではないかと推測されます。そういった意味で今大会では、医療保険と介護保険の現場でそれぞれ働いている方が共通して学べる機会も作れればと考えています。

このようにベテランから若手までが参加しやすい臨床作業療法大会にするため、ただ今実行委員と一緒に企画・運営を行っている段階です。企画が固まり次第、順次公開していきたいと考えています。大会HPもオープンしておりますのでそちらもご覧ください。

(<http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd/>)

開催まで約10か月となりました。県下の作業療法士の皆様や関係諸団体の皆様のご協力を得ながら大会を盛り上げていただければと考えています。ぜひ、活発な意見交換と学びの機会を作る大会にしていきたいので宜しくお願いします。

※ 開催告知についてはP10をご参照ください

27年度 理事紹介

事務局長



医療法人社団明芳会
イムス横浜狩場脳神経外科病院

福留 大輔

平成 27 年度より事務局長に就任させて頂いております福留大輔です。前期 2 期 4 年間は、学術部の担当部長をさせて頂いておりました。

今期、事務局の目標は、多くの方が素敵な作業療法と出会い、幸せになれる県土会の組織強化の推進を努めてまいります。

神奈川県には、4 月現在 2,000 人を超える作業療法士が在籍している中、県土会へ所属している作業療法士は 1,700 人程度になっています。また、毎年 10 名ほど

の方が退会となっている現状もあります。

まずは関連部署及び委員会と連携し、神奈川県の作業療法士全員が県土会へ所属したくなる事業や作業療法士がより社会に必要とされる職能団体に成長していく事業をサポートし展開していきます。

その為にも会員ひとりひとりの協力が不可欠です。是非、私たちと共に神奈川県作業療法士会を素晴らしい職能団体となるよう創り上げて行きましょう。

財務部



積善会曽我病院

佐藤 良枝

このたび財務担当理事に就任しました佐藤良枝と申します。

神奈川県作業療法士会会員のみなさま、会費納入ありがとうございます。

みなさまの会費が神奈川県作業療法士会の会長・副会長・事務局長はじめ各部・各委員会の活動を支えてくださっています。

神奈川県作業療法士会が中期長期目標達成に向けて円滑にそして効果的に活動でき

るように「お金」の側面からサポートするのが財務の仕事と考えております。

みなさまからお預かりした会費を現在はもちろん将来の県土会と県土会員のみなさまのために、ひいては神奈川県民のみなさまの健康増進のために、よりよいカタチとなって還元できるように努めます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

学術部



横浜市中市民総合医療センター

鴻井 建三

サラリーマン生活のあとに、作業療法士になり早 27 年。社会状況は変化し、自分の周囲も大きく変化しているはずですが、作業療法に対する自身の思いは、原点のまま。臨床力をつけ、人間力をつけたいという成長への欲求は強まるばかりです。作業療法を医学モデルからはじめましたが、作業という考えは、医学や、福祉、教育の枠を超え、人間の根幹に据えるとおさまりが

いいと実感しています。諸先輩の作業療法は、非常に基本的で、本質的で、効率的で、論理的で、直感的で、美的で素晴らしいものでした。県土会の学術担当として、神奈川の作業療法が先輩からの伝統と進取に満ちたものとなるように、触発力のある人を発掘し、情報を共有し、人材で世界一となる礎を学術部が少しでも担えればと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

教育部



神奈川県立保健福祉大学

奥原 孝幸

教育部理事の奥原孝幸です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

教育部の活動は、協会生涯教育制度の県土会対応関連事業の実施が枠組みとしてありますが、その中に県土会独自の展開をさらに光らせたいと考えています。

また、「生涯教育制度はわかり難い」とよく言われますが、少しでもわかりやすく

なるよう工夫して説明していきますが、個別対応が一番です。県土会サイト内から質問もできます。ご不明な点は何でもお問い合わせください。

「あきらめないで！認定作業療法士。目指せ！、専門作業療法士。」が合言葉です。さあ、皆さんも一緒に……。あれっ？！

— 新体制後の各理事の紹介 —

広報部



北里大学病院

神保 武則

皆さん、こんにちは。本年度から広報部理事を務めることとなりました北里大学病院の神保武則と申します。途中、日本を離れましたが、生まれも育ちも小田原市です。県土会の広報部は、私を含め 24 名の部員がいます。今までの広報活動を引き継ぎ、これからもさらに作業療法の啓発のため、様々な広報活動を展開していこうと思います。敢えて作業療法を広報するという立場になりますが、地域で開催されるチョットしたイベントに参加したり、講演依頼のあ

る施設に講演を兼ねた訪問をしたり、そして、身近にあるチョットした出会いやふれあいも大切にして、作業療法の意義や奥行きなども、楽しく爽快地伝えていけるようにしていければいいなあ、と。私としては、改めて『作業療法とは何か…』を再学習する良い機会。まだまだ勉強中です。“オモイツキ”や“発想”などがあれば是非紹介して下さい。広報部のお手伝いをして下さる方がいれば“とてもとても”助かります。今後ともよろしくお願い致します。

福利部



湘南鎌倉総合病院

吉本 雅一

福利部の理事を担当します湘南鎌倉総合病院の吉本雅一です。私はいま 15 年目の OT です。一度東京に転職しましたが、年を重ねるごとに地元神奈川の OT を盛り上げたい！と思うようになり、再び神奈川に戻り 6 年の歳月が過ぎました。

福利部は今年度も神奈川県作業療法士会会員の福利厚生や活動発展に寄与し、研修会・交流会、ウェブサイトや県土会ニュー

ス等を活用し、情報の提供・交換・発信や交流の活発化を推進していきます。表彰、倫理対策、新入会員歓迎会、職場見学会、県内 OTR の活動紹介など、様々な形で会員の交流と福利厚生を行っていきます。今回いただいたお役目を全うし、作業療法の発展に少しでも寄与していきます。至らない点があるかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。

地域リハビリテーション部



フローバーホスピタル

遠藤 陵晃

今年度から地域リハ部の理事を務めさせていただく事になりました。昨年までは、地域リハ部員でしたが部全体の対応となりますので至らない点もありますが全力で頑張りたいと思います。

私は、回復期から訪問リハビリまで提供している医療法人で臨床・管理業務をしています。そこでは、回復期病棟の立ち上げや訪問リハビリ業務など各領域の経験をさせて頂いています。また、神奈川県地域リ

ハ三団体協議会、湘南地域リハ連絡会など運営も携わっています。

近年、地域に出る作業療法士が求められています。行政やケアマネジャーと話をしても身体、精神等どの分野でも地域に出て働ける人が必要と聞かれています。日々、学ぶことが必要と考えていますので、皆さんと一緒に学んでいければと思います。よろしくお願い致します。

制度対策部



茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

野本 義則

このたび制度対策部担当理事就任にあたり、ご挨拶を申し上げさせていただきたく存じます。

私は神奈川県内の精神科病院で臨床に携わり、現在は県内の作業療法士養成校にて教務主任をしております。県土会の業務では、副事務局長を 4 年、広報部担当理事として 2 年、また埼玉県にてウェブサイト管理担当理事を勤めました。

今期担当いたします制度対策部は、今回の県土会組織改編にあたり新設された部門であります。従来の福祉用具対策委員会、

社会制度対策委員会を部門内の班として設置し、それらをさらに発展させることを目指すとともに、災害対策事業班を設け、災害時における県土会としての対応を明確にするなど、業務の幅が広く、その責務の重さを痛感しております。

新設の部門に新たな担当で、まずは現状把握に努めておりますが、今に満足せずより良いものを作っていくよう尽力いたしますので、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

27年度 理事紹介 — 新体制後の各理事の紹介 —

ウェブサイト 管理委員会



昭和大学

作田 浩行

皆さん、こんにちは。ウェブサイト管理委員会を担当している作田と申します。「みて役立つ！すぐ役立つ！まずはクリック！県士会サイト」のキャッチフレーズのもと、県士会サイト (<http://kana-ot.jp>) を企画・運営・作成（手作りです！）しています。

ホームページというのは「受け身」のメディアです。皆さんが見に来てくれないと情報を発信することができません。有益な情報を確実に皆さんへ届けるための工夫

（Facebook、Twitter、Mail、など）もしていますが、ここはやはり1週間に1度でもかまわないので「県士会サイト」へ足を運んでください。そして、適当にいろんな場所をクリックしてみてください。おそらく毎回新たな発見があると思います。

皆さんに使ってもらえる県士会サイト、また来なくなる県士会サイトとなるようがんばります。これからもよろしく願います。

学会評議委員会



横浜リハビリテーション
専門学校

内山 博之

今回、学会評議委員会の理事になりました内山博之と申します。よろしくお願いいたします。前回に引き続き2期目の理事になります。

私は、国立仙台病院附属リハビリテーション専門学校を卒業後、肢体不自由児施設で脳性麻痺を中心とした子どもたちの作業療法を行っておりました。

その後、現在の横浜リハビリテーション

専門学校で教員として、学生たちの教育に携わり、日々、人を育てることの難しさ、楽しさを感じています。

学会評議委員会の理事として、来年7月に開催される第2回神奈川県臨床作業療法大会および、平成28年度に開催される第16回神奈川県作業療法学会を全力でサポートしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

公益法人化対策委員会



クラブハウスすてっぷなな

野々垣 睦美

神奈川県作業療法士会は平成20年12月に一般社団法人となり、さまざまな活動を展開してきました。活動のなかには専門職としての研鑽はもちろんのことですが、県民のみなさまの健康増進などに関する取り組みもおこなっています。

職能団体として、より社会的信用の高い「公益社団法人」取得のためには、今までの県士会活動を整理していく必要があります。他団体から情報を得ながら公益社団法

人にむけて準備をしていくための特設委員会が、公益法人化対策委員会です。

私の自己紹介ですが、横浜市内で高次脳機能障害の方を対象とした地域支援をしています。趣味は島めぐり（愛読書は日本島図鑑）。猫のいる場所を中心に巡っています。おすすめは熊本県の湯島。ほのぼのしています。

公益法人化対策委員会



横浜 YMCA 学院専門学校

名古屋 和茂

今期、公益法人化対策委員会の担当理事となりました名古屋です。新人の時からずっと神奈川県内で勤務し、今年で20年目となりました。新人時代から広報部、事務局、代議員制度対策委員会等で、県士会に関わってきました。この間でも、行政や県民から職能団体である県士会への業務依頼や要望などが増加しております。

それらに対して、一般社団法人よりも、

更なる社会的責務、要請に答えられる社会的地位である「公益法人」への移行に取り組む委員会となっております。新たな組織には、様々な見直し等が必要となる為、この委員会は理事2名体制となっており、もう一人の担当理事である野々垣理事と共に取り組んでいきたいと思っております。



新緑訪問看護ステーション
長津田

木村 修介

当会理事となり4期7年目となりました。今までは地域リハビリテーション部で活動してまいりましたが、今期より生活行為向上マネジメント推進委員会を担当することになりました。

当委員会は日本作業療法士協会が推進する生活行為向上マネジメントを本会の全ての会員に普及、推進することを目的としており以下に掲げる活動を行ってまいります。

- 1) 各種研修会の実施
- 2) 事業所説明会の実施
- 3) 生活行為向上マネジメント実践者の養成

4) 事例の集積

5) 協力事業所の募集

神奈川県は他の都道府県と比較しても普及状況が芳しくありません。作業療法の危機的状況を我々の力でしっかり耐え忍び、県民の生き生きとした姿がみられるように生活行為向上マネジメントで作業療法をアピールしていきましょう!!生活行為向上マネジメントは対象者の「やりたい!!」という気持ちを実現させるためのツールであり日本作業療法士協会が開発したものです。



川崎医療生活協同組合
介護福祉事業部

村越 妙美

今期、新しく理事に承認されました村越妙美です。認知症対策委員会の担当になりました。理事会の新体制の中で国策的に重視される認知症対策について一早く対応していくための特設委員会として新設されました。2025年に高齢人口がピークとなり、要支援または介護者が最も増加する事が懸

念されています。認知症800万人とも言われています。寿命が延びている中で健康寿命との差が10年程有ることも問題視されています。心身共に健康寿命を延ばす事、それを地域で援助する作業療法士が求められているのではないのでしょうか。皆さん一緒に頑張りましょう。



藤沢市保健医療センター
訪問看護ステーション

田中 ゆかり

県士会活動は、入職して間もなく広報部からお声かけいただき、部員や班長、担当理事を経験しました。しばらく子育てに専念していましたが学会評議員会ができた時、再び委員として県士会活動に参加する機会を与えていただき、今年度からは監事として県士会を見守っていく大役を担うことになりました。とはいえ、歴代監事の諸先輩方のように、県士会の会費や運営について把握し助言するにはまだまだ学びが足りず、頼りない監事だと思います。が、「自分は県士会活動になぜ参加しているの

か?」「県士会に所属するとはどういうことか?」「払った会費は私の得になるのか?」「誰のための『作業療法』士会なのか?」など会員の皆さんの色々な疑問に寄り添い、ともに考え歩んでいける監事でいたいと思っています。

会員一人ひとりの思いは様々であると思いますが、県士会活動を通して互いの意見をぶつけ、語り、理解し合い、大きな壁に立ち向かえるしっかりした組織と一緒に創っていきましょう。

出席理事：錠内、中西、澤口、福留、佐藤、鴻井、奥原、神保、吉本、遠藤、野本、作田、内山、名古屋、野々垣、木村、村越
欠席理事：鈴木(久) 出席監事：清宮、田中
その他：出口(広報部：ニュース編集班)、三森(webサイト管理委員会：HP担当)、魚岸・金山(事務局：書記)

●報告・検討事項

1. 事務局(福留事務局長)

(1)報告事項

1)渉外

- ・第26回全国介護老人保健施設大会神奈川 開会式出席依頼→錠内会長出席予定
- ・医療専門職連合会6月決算総会開催報告→「事業報告」「決算報告」「次期役員」について承認された
- ・県エイズ対策推進協議会担当者変更について→錠内会長へ変更

2)他団体より研修会等周知依頼

- ・第4回福祉居住フォーラム「空き家を活用した地域包括システムの推進」
- ・第19回作業科学セミナー
- ・第34回神奈川県病院学会「地域医療連携の推進 Part4～地域医療構想をふまえて～」
- ・第42回PT/OT/ST養成施設教員講習会
- ・義肢装具SIG第11回講習会
- ・訪問リハビリテーション管理者研修会
- ・第14回訪問リハビリテーション管理者研修会 STEP1(東京)
- ・第15回訪問リハビリテーション管理者研修会 STEP2(大阪)

3)庶務関連

- ・事務員雇用について→1名採用(勤務：週3日)

(2)審議事項

- 1)強制退会者について→10名の強制退会者を承認
- 2)再入会希望者について→1名の再入会を承認
- 3)横浜市リハビリテーション事業団ヨコマハヒューマン&テクノランド2015→承認
- 4)専門職の食と栄養セミナー「食を通じた『未病を治すかながわ宣言』への取り組み～健康寿命日本一を目指して～」後援依頼→承認
- 5)部員の承認→10名を承認。

2. 財務部(佐藤理事)

(1)報告事項

- 1)会計マニュアル・研修会マニュアル説明会→7月16日17日県土会事務所にて19時より開催。
- 2)活動予定
 - ・財務情報の活用について→「お金の動きの見える化」として過去3年間の県土会活動と収支に関する関係資料の収集中を行う

(2)審議事項

- 1)部員の承認→1名承認

3. 学術部(鴻井理事)

(1)報告事項

- 1)研修会について
 - ・「高次脳機能障害の基礎・応用(仮)」2015年10月25日13:30～早川裕子先生
 - ・「作業療法士の起業・組織論(仮)」2015年11月20日18:45～川本愛一郎先生
 - ・「作業療法士が知っておくべき嚥下機能の評価・治療(仮)」2016年1月16日13:30～佐藤彰弘先生
 - ・「実習指導について(仮)」日時未定 石川哲也先生他2名
 - ・「手指の評価・治療について(仮)」日時未定 鴻井健三先生
 - ・「急性期の脳卒中について(仮)」日時未定 酒井由香里先生

(2)審議事項

- 1)部員の承認→18名承認

4. 教育部(奥原理事)

(1)報告事項

- 1)研修会について
 - ・現職者共通研修 第1回2015年10月10日～10月11日10:30～
 - 第2回2015年11月23日10:30～
 - ・事例報告登録制度に関する研修会 2015年10月11日14:45～
- 2)研修会時の入会受付について→第1回目の現職者共通研修のみ当日入会を受け付ける

(2)審議事項

- 1)部員の承認→14名を承認

5. 広報部(神保理事)

(1)報告事項

- 1)ニューススケジュールについて→174号7月発刊から横浜市にある高陽印刷所に変更
- 2)対外広報班活動報告
 - ・相模原市さくら祭り
 - ・JA横浜主催ヘルパー向け研修会「介助方法について」→福祉用具班と協力
 - ・ヨコマハヒューマン&テクノランドへ参加予定
 - ・JA横浜日吉支店研修「介護予防について」へ参加予定
 - ・県土会パンフレットについて→更新、増刷予定

(2)審議事項

- 1)部員の承認→24名を承認

6. 福利部(吉本理事)

(1)報告事項

- 1)求人・求職の登録および情報提供→新規82件、変更7件、削除1件、問い合わせ4件
- 2)新入会員オリエンテーション&歓迎会→2015年10月10日16:30～
- 3)職場見学会 医療法人社団緑野会 みどり野リハビリテーション病院「意味ある離床に向けた取り組み」2015年7月29日13:30～
- 4)スポットライト～OTの生き方～「グループホーム運営編」立心会坂の上の家 富所明夫先生

(2)検討事項

- 1)部員の承認→9名承認

7. 地域リハ部(遠藤理事)

(1)報告事項

- 1)研修会について
 - ・第5回多職種合同研修「アウトリーチによる支援」2015年9月5日13:00～
 - ・ALS者のコミュニケーション支援講習会 日時未定
 - ・神奈川県ネットワークミーティング「訪問リハスタッフ教育ってみなさんどうしてますか？」2015年8月9日
 - ・神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会 2015年11月14日～15日
 - ・神奈川県訪問リハビリテーション学術集会「とことん地域密着！！100%県民還元」2016年1月9日
- 2)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会について
 - ・神奈川県訪問リハビリテーション協議会から神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会へ名称変更
- 3)訪問リハ・地域リーダー会議→遠藤参加
- 4)横浜市のリハビリテーション活動支援事業報告 2017年から横浜全区で導入。

(2)審議事項

- 1)部員の承認→14名承認

8. 制度対策部(野本理事)

(1)報告事項

- 1)研修会について
 - ・「福祉用具スキルアップ研修 基礎編」2015年8月8日、9月6日
 - ・「福祉用具スキルアップ研修 上級編」2015年11月8日、12月5日

(2)審議事項

- 2)部員の承認→13名承認

9. ウェブサイト管理委員会(作田理事)

(1)審議事項

- 1)部員の承認→5名承認

10. 学会評議委員会(内山理事)

(1)報告事項

- 1)第2回神奈川県臨床作業療法大会 遠藤陵晃大会長(クローバーホスピタル)を中心に8名の委員にて開催

(2)審議事項

- 1)部員の承認→2名承認

11. 公益法人化対策委員会(名古屋理事・野々垣理事)

(1)報告事項

- 1)理事役割について
公益法人申請に関する事項は名古屋理事、公益目的事業に関する事項は野々垣理事が担当

(2)審議事項

- 1)部員の承認→2名承認。1名追加予定。

12. MTDLP推進委員会(木村理事)

(1)報告事項

- 1)研修会について
 - ・基礎研修会 2015年7月4日(35名)、25日、8月8日
 - ・基礎A 2015年6月5日(7名)、7月24日
 - ・基礎B 2015年8月9日、8月22日、8月23日
 - ・演習I 2015年6月26日(11名)、8月7日
 - ・演習II 2015年7月3日(12名)、8月21日
 - ・演習III 2015年7月17日、8月28日
 - ・事例作成 2015年9月4日
 - ・事例発表 2016年1月31日、3月6日
- 2)MTDLP関連
 - ・生活行為向上マネジメント概論90分+演習330分で基礎研修修了となる次年度以降は事例1名発表が必須となる
 - ・今年度は基礎研修終了後1年以内に事例投稿もしくは事例発表で実践者研修修了となる

(2)審議事項

- 1)部員の承認→13名が承認
- 2)委員会内規→承認

各部からの報告

教育部

県士会ウェブサイトから
質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しずつお伝えしています。

1. 現職者共通研修

申し込み受付中！詳細は先月号ニュースチラシ、県士会ウェブサイトにてご確認ください。

- 10月10日（土）「作業療法生涯教育概論」、
「作業療法の可能性」、「職業倫理」
10月11日（日）「作業療法における協業・後輩育成」、
「事例報告と事例研究」
11月23日（月・祝）「実践のための作業療法研究」、
「保健・医療・福祉と地域支援」、
「日本と世界の作業療法の動向」

2. 現職者共通研修の「事例報告と事例研究」、「事例報告」、「事例検討」の3テーマに関して、ご案内を同封チラシに掲載しましたので、今から準備を進めてください。

3. 事例報告登録制度に関する研修会

申し込み受付中！詳細は先月号ニュースチラシ、県士会ウェブサイトにてご確認ください。

10月11日（日）

14：45～16：15（受付10時より）

＊当日開催の現職者共通研修終了後開催します。現職者共通研修と合わせてご参加ください。

＊神奈川県士会員無料！（他県士会員1000円）。2ポイント付与！

＊現職者共通研修とは別の研修会となりますので、申し込みは別々になります。

生涯教育制度に関してご不明の点はご連絡ください。

県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）

045-828-2738, kyoiku@kana-ot.jp

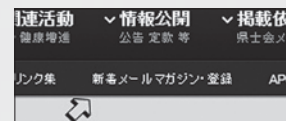
ウェブサイト管理委員会

県士会サイトの更新情報をメールで受け取る方法 （携帯メール可）

1. 県士会サイトへアクセスする <http://kana-ot.jp>
2. 上部黒帯ナビの2段目中央やや右側「新着メールマガジン・登録」をクリックする
3. 記事の最下部へ移動する
4. 「Enter email address」へ登録するメールアドレスを入力する（携帯メール可）
5. 「Subscribe」をクリックする

まだ仮登録です！次の手続きへ進んでください

6. 本登録のためのリクエスト確認メールを受信する
7. 本文に記述されているURLへアクセスして登録完了
（文責：ウェブサイト管理委員会）



登録・登録解除

Your email:

Enter email address...

Subscribe Unsubscribe

福利部

新入会員オリエンテーション＆ 歓迎会のお知らせ

毎年10月の現職者共通研修終了後に、新入会員のみなさんを対象にした企画として、新入会員オリエンテーション＆歓迎会を行っています。当日は新入会員の方に神奈川県士会についてのオリエンテーションを行います。すでに会員の皆様の参加も大歓迎です。皆さま、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。また、オリエンテーション終了後は、懇親会も予定していますのでこちらもふるってご参加ください。

日 時：平成27年10月10日（土）16：30～18：00

場 所：横浜リハビリテーション専門学校

参加費：無料 申込み：不要

職場見学会報告

7月29日（水）に『意味ある離床に向けた取り組み』をテーマにみどり野リハビリテーション病院にて職場見学会を実施させて頂きました。最初に山口先生より病院内の案内をして頂きました。何より驚かされたのはお風呂・トイレの充

実。特にお風呂は展望風呂や足湯もあり、足湯に浸りながらリハビリを実施する事もあるとの事でした。また、フロア毎にデイルームがあり、患者様が様々な作業を楽しみながら実施されている様子も印象的でした。病院見学の後に平石先生より『意味ある離床に向けた取り組み』の講義をして頂きました。綿密なスケジュール管理の元、毎日

多くのレクリエーション・アクティビティを実施されており、何より感銘を受けたのが、リハビリ職員だけでなく、看護職員・介護職員も患者様の離床に対してとても積極的に取り組まれているという事でした。アットホームな雰囲気の中、多くの質問が飛び交い、とても充実した見学会を開催させて頂くことができました。（文責：湘南鎌倉総合病院 池嶋孝二）



展望風呂



テラスでの園芸活動

新 設 部 署 紹 介

新設部署の名称：生活行為向上マネジメント推進委員会

Q1. どのような部署ですか？

平成 20 年から日本作業療法士協会（以下 O T 協会）が厚生労働省の老人保健健康増進等事業（いわゆる研究事業）を活用し開発してきたものが生活行為向上マネジメント（managment tool for daily life performance:MTDLP）であります。

作業療法の臨床思考過程の 1 つであり、全国 47 都道府県のどの作業療法サービスを受けても 30cm 部分は必ず同質のサービスが受けられる（提供できる）ために、作業療法を見える化したツールになっております。（30cm というには作業療法

の技術を“ものさし”に例えたものであり、ベテラン O T は 2 m、3 m の長さであらわし、O T 1 年目であれば 30cm 以下の長さかもしれません）

既に周知の通り、O T 協会の第二次作業療法 5 ヵ年戦略の重点事項（図 1）に位置付けられており、すべての協会員にこの M T D L P を普及、推進するために活動しております。

従って、当会の生活行為向上マネジメント推進委員会においても、当会全会員への普及、推進を目指しております。

地域生活移行・地域生活継続支援（「第二次作業療法 5 ヵ年戦略」重点事項）

保健・医療・介護	地域包括ケアにおける作業療法の役割強化
	地域包括ケアシステムにおける作業療法に関すること
	2025 地域包括ケアシステムにおける作業療法の役割を明示（28） 生活行為向上マネジメントの学術的位置づけ確立と普及 作業療法ガイドラインに生活行為向上マネジメントを位置づけ（1） 生活行為向上マネジメントの作業療法の位置づけを公開（11） 生活行為向上マネジメントの予防事業への応用を提示・普及（41） 地域包括支援センターの 5 割以上に作業療法士を配置（29） 地域生活支援に関わるマニュアルの発行（10）
	認知症への取り組みに関すること
障害福祉・保健・医療・教育	認知症初期集中支援チームへの作業療法士の参画を促進（31） 認知症初期集中支援チームにかかる研修会を重点的に実施（25） 認知症 DVD の企画・製作（59）
	保健・教育・障害福祉領域における地域生活移行・地域生活継続支援
	特別支援教育に関すること
	学校教育に参画すべく、作業療法士の役割を提案、配置を促進（44） 教育関連の法令にかかる領域の作業療法士活用に関して提言・要望（45） 教育領域における作業療法士養成研修を企画運営（46）
障害福祉・保健・医療・教育	障害福祉領域等における地域生活支援、特に就労支援に関すること
	精神科多職種チーム（精神科アウトリーチチーム）研修会を重点的に実施（26） 作業療法士による就労支援実績と支援モデルを提示、関連団体と学術交流（36） 障害者の復職支援・就労支援における作業療法士の役割を明示（37）

（ ）内は具体的行動目標番号 一般社団法人 日本作業療法士協会

図 1 「第二次作業療法 5 ヵ年戦略」重点事項

研修会案内

第 42 回日本リハビリテーション工学協会 車いす SIG 講習会 in 厚木

主 催：日本リハビリテーション工学協会 車いす SIG
日 時：2015 年 10 月 17 日（土）～ 18 日（日）
会 場：神奈川県総合リハビリテーションセンター

第 26 回パーソン・センタード作業療法研修会

主 催：NPO パーソン・センタード・ケアを考える会
日 時：2015 年 10 月 24 日（土）
場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター
U R L：http://www.pcdc.or.jp/meeting/pcot20151024/

今さら聞けない！循環アセスメントのポイント “50”

主 催：一般社団法人 日本離床研究会
日 時：2015 年 10 月 25 日（日）
場 所：お茶の水女子大学 キャンパス（東京都）
U R L：http://www.rishou.org/

第 16 回日本臨床リハビリテーション心理研究会

主 催：日本臨床リハビリテーション心理研究会
日 時：2015 年 11 月 8 日（日）
場 所：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎 522 教室
U R L：http://rehapsycho.yaekumo.com/

Q2. どのような経緯で新設されたのですか？

神奈川県作業療法士会においては昨年度まで地域リハビリテーション部の活動の一部として研修会の開催などに取り組んでまいりました。

しかしながら下記に掲げる理由により、特設委員会（時限付きの委員会）で対応すべきと昨年度の県士会執行部で判断し、代議員総会を経て、平成27年度より新設されました。

- 1) O T 協会内に立ち上がった時限措置のプロジェクトチームが継続されたこと
- 2) O T 協会に47都道府県委員会が新設され、今まで以上に協会と県との協力体制が必要となったこと
- 3) 神奈川県におけるMTDLPの普及が低迷していること
- 4) 既存の部・委員会で対応するには活動量が制限されてしまうこと
- 5) 対外的にMTDLPの普及、推進に取り組んでいることをアピールするために

Q3. 新設されたことで今後どのようにかわるのでしょうか？

前述した通り、当委員会は全ての協会員（神奈川県士会員でありかつ協会員）にMTDLPを普及、推進するための部署であります。従って、現在取り組んでおりますMTDLP基礎研修会（概論90分＋演習330分）を全ての会員が受講し、かつMTDLPを使用することで、県民が生き生きと健康になれることが期待できます。

医療介護の同時改定が平成30年に控えておりますが、残り3年間で会員数の6割が基礎研修会を修了することをO T 協会は目指しております。

Q4. 活動予定を教えてください。

詳細は県士会ウェブサイトでご確認ください。MTDLP研修会の開催が主な活動になりますが、以下のような活動も行っています。

- (1) 生活行為向上マネジメント講習会の企画、開催
- (2) 生活行為向上マネジメントの事業所説明会
- (3) 生活行為向上マネジメントの実践者の養成
- (4) 生活行為向上マネジメントを活用した事例の集積
- (5) 生活行為向上マネジメントを活用している事業所の把握
- (6) 生活行為向上マネジメント活用の協力事業所の募集

Q5. 部署について教えてください。（構成メンバーなど）

当委員会は以下の班で構成しております。

- (1) 研修班：講習会、研修会の企画運営を担当する
- (2) 普及班：事業所説明および協力事業所の募集を担当する
- (3) 事例班：生活行為向上マネジメントを活用した事例の集積および研修会などで使用する事例の作成を担当する
- (4) 会計班：当委員会に関する会計業務を担当する

Q6. 県士会員の皆様にメッセージをお願いします。

神奈川県士会ではMTDLPの普及が遅れております！！受講した方は職場の皆様へ受講をお奨めしてください。また受講したことのない方はすぐに研修会予定をご確認のうえお申込みをお願いいたします。（文責：木村修介）

第1回クリニカルクラークシップに基づく**作業療法臨床教育研究会**

主 催：クリニカルクラークシップに基づく作業療法教育研究会事務局

日 時：平成27年11月14日

場 所：目白大学 新宿キャンパス

触診・解剖学セミナー臨床編

主 催：療法士活性化委員会

場 所：ウィリング横浜

【骨格】

日 時：9月26日（土）、10月25日（日）、11月28日（土）

12月27日（日）※内容は全て同じです。ご都合のつく日程にお申込みください。

URL：<http://tohwaseminar.jimdo.com/syokushinkotsuhon/>

【筋肉】

日 時：9月27日（日）、10月24日（土）、11月29日（日）

12月26日（土）※内容は全て同じです。ご都合のつく日程にお申込みください。

URL：<http://tohwaseminar.jimdo.com/syokushinkinon/>

O Tの魂を呼び起こす ～作業療法の原点を見つめ直そう！～

主 催：昭和作業療法卒後教育セミナー

日 時：平成27年11月29日（日）

場 所：昭和大学保健医療学部（横浜キャンパス）

問い合わせ：昭和作業療法卒後教育セミナー事務局

横浜市緑区十日市場町1865

昭和大学保健医療学部作業療法学科内

〈メール〉otd@nr.showa-u.ac.jp

第2回 神奈川県臨床作業療法大会 開催決定！

開催時期 2016年7月10日※

開催地 湘南地域※

演題募集開始 2015年11月ごろを予定

ホームページ <http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd/>

※詳細は後日、県士会ニュース・大会ホームページに案内いたします。
変更の場合もございます。ご了承ください。

●大会長より

第2回臨床作業療法大会を開催することが決定しました。神奈川県の作業療法士を盛り上げられるように現在準備をしています。多くの皆様と一緒に学ぶ機会を楽しみにしていますので、ぜひ臨床作業療法大会の参加していただければと思います。よろしくお願いいたします。

●神奈川県臨床作業療法大会ってなに？

神奈川県作業療法士学会は西暦奇数年度（2年毎）に開催されておりますが、2012年（平成24年）より「新しい学会」として臨床作業療法大会が西暦偶数年度に開催することになりました。第1回神奈川県臨床作業療法大会は2012年4月15日に神奈川県立保健福祉大学にて開催され、来年2016年の臨床作業療法大会が第二回目となります。

※2014年はWFOT（世界作業療法大会）のため開催せず。

●実行委員会より

2015年5月に臨床作業療法大会の実行委員会が立ち上がりました。2016年7月の開催に向けて、実行委員一同準備を進めております。今後も県士会ニュースにて大会情報を随時お届けいたします。また、ホームページもオープンしておりますのでご覧いただければと思います。

神奈川県作業療法士会の会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

実行委員

大会長：遠藤 陵晃（クローバーホスピタル）
財務：金沢 隆之（相模原市健康福祉局保険高齢部高齢者支援課）
企画演題：佐藤 隼（さがみりハビリテーション病院）
会場運営：金山 桂（横浜YMCA学院専門学校）
会場運営：金子友希乃（藤沢病院）
広報：木下 剛（済生会横浜市東部病院）
広報：小島 由莉（西横浜国際総合病院）
学術誌：山口 悠里（特別養護老人ホーム 恒春の丘）
事務：渡邊 亜紀（湘南藤沢徳洲会病院）

求人案内

作業療法士
募集

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 いとうの杜

伊東駅から徒歩2分とアクセスしやすく通勤も便利です。老健としては規模も大きく、多くの利用者様と関わりながら、経験を積んでいただきたいと思います。
また、将来的には、県外の当法人グループの病院・施設への出向することも可能です。
お気軽にお問合せ下さい。

募集人員：2名

施設概要：入所137名、短期入所生活介護22名
通所リハビリテーション定員60名

待遇：月給与25万円～（経験者優遇）、通勤手当住宅手当、
家族手当等賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備
退職金制度あり

休日：週休2日制（4週8休）、年末年始休暇5日

勤務時間：9:00～17:30

交通：JR伊東駅より徒歩2分（伊東駅裏）

問い合わせ先

〒414-0002 静岡県伊東市湯川288-9
TEL：0557-35-4165
FAX：0557-35-4101
担当：事務長 三河
Eメール：t-mikawa@tl-wam.or.jp
URL：http://www.wam-town.jp/ito/

OT・STさん
募集

しんしあ訪問看護リハビリステーション

私たちは地域密着型の訪問リハを実施しています。
多職種が連携し、きめ細かなリハを提供中です。
勤務条件などは、お気軽にご相談ください！！

施設概要：訪問看護ステーション

募集人員：若干名

待遇：インセンティブ加算、保険各種、
交通費支給、賞与年2回

給与：年収420～650万円、1件/時間4,000円～

勤務時間：9:00～17:15（週1日3時間以上～OK）

休日：土日祝、有給休暇、年末年始、夏季休暇

その他：スタッフ合同の定期的勉強会などあり

現スタッフは、PT4名、ST2名、NS4名

応募方法：随時電話連絡の上、履歴書郵送願います

問い合わせ先

〒235-0042 横浜市磯子区上中里町752-1-202
TEL：045-770-5561（直通）
FAX：045-770-5562
Eメール：info@sincere-care.org
URL：http://www.sincere-care.org/



作業療法士
募集

むつみの家

車椅子での座りきりからレクが楽しめるようになったり、下肢筋力をつけて、近くまで散歩が出来るようになる等、OTならではの視点を尊重します。

募集人数：1名（パート）

資格：作業療法士

勤務内容：デイサービスでのリハビリ

勤務時間：9:00～15:00

午前中のみでも構いません。

休日：日・その他シフトによる休み・年末年始・夏休み

待遇：時給2,500円

勤務地：横浜市南区睦町1-8-3

概要：デイサービス

応募方法：電話またはメールにてお願いいたします。

問い合わせ先

TEL：045-743-6588
担当：管理課 加藤
Eメール：kato@clinic.or.jp
URL：http://www.clinic.or.jp

作業療法士
募集
（有資格）

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

募集人員：若干名

待遇：非常勤職員としての雇用です

給与：1,864円/時給

手当：交通費相当分支給

勤務日数により健康保険・厚生年金・雇用保険・
労災保険あり

勤務時間：8:30～17:15まで ※頻度・時間等は応相談

休日：4週8休制

施設概要：300床（回リハ101床）、脳卒中・神経疾患と
脊椎脊髄疾患の専門病院です。

応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、免許証の写しをご持参ください。※まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

交通：JR根岸線根岸駅から市営バス
「脳卒中・神経脊椎センター」行 下車0分
市営地下鉄吉野町駅から市営バス「磯子車庫前」
または「滝頭」行「根岸橋」下車8分

問い合わせ先

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭1-2-1
TEL：045-753-2500（代表）
FAX：045-753-2905
担当：リハビリテーション部 遠藤
Eメール：by-no-somu@city.yokohama.jp
URL：http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/

財務部からのお願い

現在、神奈川県作業療法士会では入会手続きにおいて、4枚複写の口座振替依頼書をお送りしています。

この口座振替依頼書の4枚目まで事務局へ送ってしまった方はいませんか？4枚目の用紙は各自で保管していただく用紙です。

返却をご希望の方は、10月31日までに82円切手を貼付し郵送先を記載した返信用封筒を同封の上、お名前・ご所属を記載して事務局までご連絡ください。

ご連絡のない場合は、事務局で破棄することに同意されたとみなしてこちらで対応させていただきます。

また、みなさまのお近くで新たに県士会に入会手続きをされる方がいらしたら次の点に注意するようお伝えいただけますでしょうか。



●口座振替依頼書には必ず銀行口座開設時に届けた印鑑で押印する

●口座振替依頼書の4枚目はご自分で保管する

知っているようで知らない「県士会」のアレコレは、神奈川県作業療法士会公式ウェブサイトの「明解、納得、県士会」<http://kana-ot.jp/wpm/awareness/> へどうぞ。ナゾ(?)の3人組がお待ちしております。

事務局からのお知らせ

平成25年11月14日の臨時総会において定款は改訂されております。本来ならば、改定後に会員の皆様に配布させて頂く必要がありました。また、平成26年度以降に入会された会員の皆様にも配布ができておりません。あわせて深くお詫び申し上げます。

現時点で定款を確認できる手段は、県士会サイトの情報公開・定款の項目に掲載されており、会員各自で確認して頂く必要があります。何卒、一度確認して頂けますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年度には、皆様に配布できるよう準備を行っております。ご理解頂けますようよろしくお願い致します。
(文責：事務局長 福留大輔)

後編集

最後までお読みいただきありがとうございました。

新しくなった紙面はいかがでしょう？ ニュース編集班は、これからも読者の方々の視点に立ったより良い紙面作りに、誠心誠意取り組んでまいります。

ニュースに関するご意見・ご感想お待ちしております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。
(komi)

一般社団法人 作業療法士会ニュース 〈175号〉 2015年9月発行 (年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)
山岡 洸 / 桜井 大和 (佐藤病院) 小峰 一宏 (イムス横浜狩場脳神経外科病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号 TEL/FAX: 045-663-5997

月火水木金 10:00 ~ 15:00 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

